

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：北総地域に適する秋冬どりニンジンの優良品種の選定（第 67 回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕 秋冬どりニンジンの年内収穫に適する優良品種は、「DC-1079」、「紅まどか」、「ローラ」、「THC202」、「クリスティーヌ」、「雪馬（No. 1268）」、「うまべに」である。			
キーワード [※] ニンジン、秋冬どり栽培、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、生産振興課	
実施期間	2019年度		

〔目的及び背景〕

千葉県の秋冬どりニンジンの栽培は、7月下旬から8月中旬頃に播種し、11月から3月にかけて収穫される。特に年内収穫では生育初期の気温が高く、エクボ症等の高温障害の発生が年によって発生する。また、近年は生育期間中の長雨に伴う黒葉枯病等の蔓延による減収やしみ症による品質低下も問題となっている。そこで、秋冬どりニンジンの年内収穫に適した、収量及び外観品質が良好なことに加えて、病害や生理障害等の発生が少ない優良品種を選定する。なお、本試験は第 67 回千葉県野菜品種審査会（ニンジンの部）として実施する。

〔成果内容〕

- 1 第 67 回千葉県野菜品種審査会（ニンジンの部）において審査された 24 品種のうち、入賞したのは「DC-1079」（渡辺農事株）、「紅まどか」（住化農業資材株）、「ローラ」（みかど協和株）、「THC202」（株トーホク）、「クリスティーヌ」（みかど協和株）、「雪馬（No. 1268）」（タキイ種苗株）、「うまべに」（小林種苗株）の 7 品種である（表 1、写真 1、写真 2）。
- 2 入賞品種の出芽率は 75% 以上でおおむね良好である（表 2）。
- 3 9 月 9 日の台風 15 号、10 月 12 日の台風 19 号で 100mm 以上、10 月 25 日の台風 21 号で 200mm 以上のまとまった降雨があり、圃場が一時的に湛水し、黒葉枯れ症状（黒葉枯病及び黒斑病）が蔓延したことから、入賞品種はこれらに強い品種が多く、葉の枯れ上りが遅いものが多い（図 1、表 3）。
- 4 入賞した 7 品種は、すべて慣行品種の「愛紅」に比べて肥大が良く収量が多い。「DC-1079」、「クリスティーヌ」、「紅まどか」、「ローラ」は根重が 130g 以上と肥大が良好であり、A 品率が 75% 以上と高い（表 4）。高温障害であるエクボ症については、「ロー

ラ」、「クリスティーヌ」、「DC-1079」で発生が5%未満と少ない。

[留意事項]

入賞品種のうち、令和2年9月時点での一般販売品種は「ローラ」、「クリスティーヌ」、「うまべに」の3品種である。

[普及対象地域]

県内の秋冬どりニンジン生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 第67回千葉県野菜品種審査会（ニンジンの部）の審査結果

順位	品種	出品社名	出品番号	立毛	収穫物	合計
1	DC-1079	渡辺農事(株)	12	87.1	244.8	331.9
2	紅まどか	住化農業資材(株)	19	83.6	241.0	324.6
3	ローラ	みかど協和(株)	3	80.2	236.5	316.7
4	THC202	(株)トーホク	11	75.2	238.6	313.8
5	クリスティーヌ	みかど協和(株)	20	79.8	232.9	312.7
6	No. 1268	タキイ種苗(株)	2	78.6	229.4	308.0
7	うまべに	小林種苗(株)	8	85.5	221.7	307.2

注1) 配点は立毛100点、収穫物300点の計400点である

2) 令和元年8月6日に播種、12月12日に収穫及び審査を行った

栽植様式は畦幅75cmの2条播き(条間15cm、株間7cm)

施肥量(10a当たり)は成分量で窒素:10kg、リン酸:25kg、加里:10kg

3) 収穫物は試験区画4畦のうち、中央2畦の長さ1m範囲の株を対象とした

4) 24品種の3割を入賞品種としている



写真1 1位入賞の「DC-1079」の立毛

注) 令和元年12月11日撮影



写真2 1位入賞の「DC-1079」の収穫物

表2 圃場における出芽率

出品番号	品種名	出芽率 (%)		
		A区	B区	平均
12	DC-1079	95	93	94
19	紅まどか	83	84	84
3	ローラ	91	87	89
11	THC202	97	95	96
20	クリスティーヌ	95	90	93
2	No.1268	83	85	84
8	うまべに	77	76	76
1		82	81	81
4		95	96	96
5		75	82	79
6		94	91	93
7		89	90	89
9		63	66	64
10		89	85	87
13		97	96	97
14		89	89	89
15		83	88	85
16		83	82	82
17		77	82	79
18		78	82	80
21		96	94	95
22		81	83	82
23		94	95	94
24		91	93	92

表3 地上部の黒葉枯病及び黒斑病発生状況

出品番号	品種名	黒葉枯病・黒斑病	
		発病葉率 (%)	発病度
12	DC-1079	86	33
19	紅まどか	87	33
3	ローラ	86	35
11	THC202	95	37
20	クリスティーヌ	95	37
2	No.1268	94	46
8	うまべに	54	18
1		50	18
4		100	52
5		100	58
6		99	45
7		100	62
9		99	48
10		100	50
13		98	50
14		99	49
15		99	48
16		96	44
17		100	66
18		98	43
21		100	63
22		97	49
23		99	48
24		97	50

注1) 令和元年8月20日調査

1区240粒(80株×3粒)、2反復調査

2) 入賞品種以外の品種名は非公表のため記載なし

注1) 令和元年11月21日調査

1区100株の中位2葉、2反復調査

2) 黒葉枯病・黒斑病の発病度は発病程度を指数0(無)~3(大)の4段階で判別し、次式から算出した

$$\text{発病度} = (\sum (\text{指数} \times \text{発生程度別株数}) / (\text{調査株数} \times 3)) \times 100$$

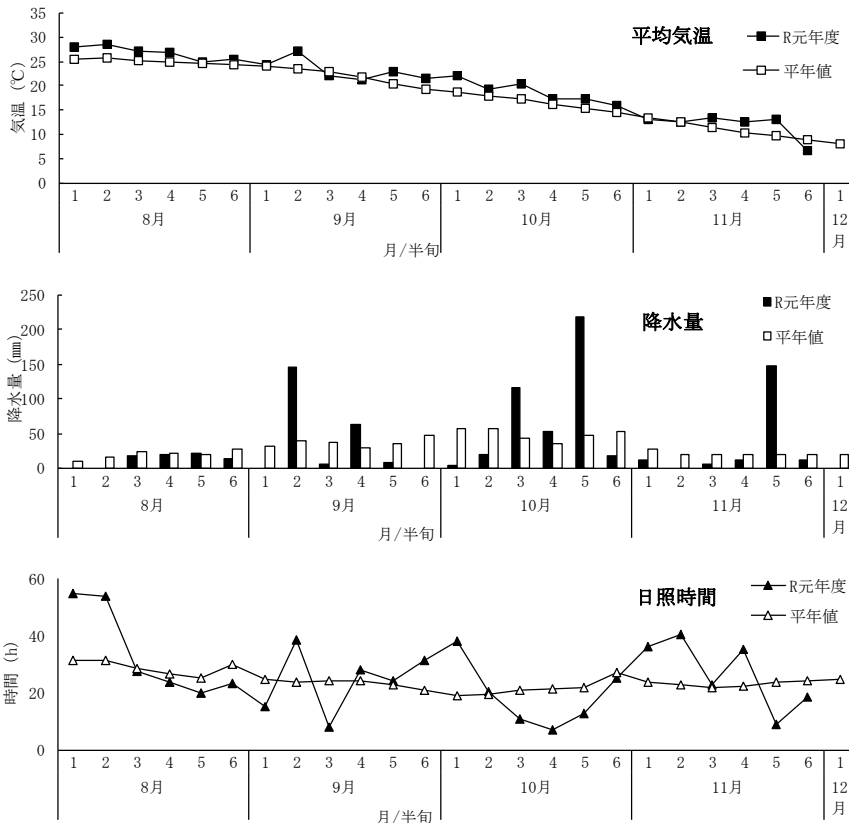


図1 栽培期間中の気象経過 (アメダスデータ; 観測地: 香取)

表4 出品品種の根重、収量、A品率、障害発生率

出品 番号	順位	品種	根重 (g/株)	収量 (kg/10a)	A品率 (%)	主な障害の発生率(%)				
						裂根	岐根	しみ症	エクボ症	形状不良
12	1	DC-1079	139.4	4,835	89.2	0.0	0.0	16.3	4.5	3.6
19	2	紅まどか	131.2	4,469	77.5	0.0	1.8	16.5	12.8	11.9
3	3	ローラ	131.0	4,541	80.5	1.8	5.5	9.0	1.8	13.6
11	4	THC202	122.3	4,195	70.7	0.0	0.9	10.0	26.8	6.5
20	5	クリスティーヌ	133.2	4,495	80.8	1.9	3.6	5.6	3.7	9.3
2	6	No.1268	111.9	3,850	81.3	0.0	3.6	8.2	9.2	9.1
8	7	うまべに	126.1	4,138	81.8	0.0	1.9	11.4	12.4	7.6
1			121.4	4,338	61.1	0.0	6.9	16.1	10.9	19.4
4			122.7	4,256	63.1	0.0	2.7	27.0	29.7	6.3
5			113.6	3,636	91.7	0.0	0.0	13.9	1.0	0.0
6			113.4	3,890	76.6	1.7	5.2	11.2	4.5	8.2
7			102.1	3,450	81.5	0.0	0.9	14.9	3.7	3.7
9			131.4	4,305	65.4	1.0	7.6	20.0	9.5	16.2
10			84.1	2,747	81.8	0.0	3.7	7.6	7.6	3.8
13			121.4	4,054	76.9	0.0	3.8	20.5	4.7	14.9
14			114.7	3,870	82.0	0.0	2.8	13.9	10.2	7.4
15			97.1	3,278	81.2	0.0	3.7	12.7	5.5	7.3
16			130.9	4,167	76.3	1.0	3.8	22.1	11.5	5.8
17			125.1	4,103	66.4	1.0	10.5	11.6	15.5	11.6
18			107.4	3,377	83.5	0.0	3.1	7.0	9.3	2.0
21			95.5	3,194	80.0	0.9	1.9	23.3	6.6	6.6
22			111.8	3,529	80.1	0.0	4.0	40.6	2.0	1.0
23			107.2	3,503	70.9	0.0	1.8	11.0	13.0	7.7
24			100.5	3,286	70.8	0.0	0.9	42.9	3.9	29.7
(参考)		愛紅	107.3	3,755	72.1	0.0	1.8	25.0	27.7	4.5

注1) 収穫日：令和元年12月12日

2) A品は外観形状に優れ、障害の発生が軽微又は無いものとした

3) 主な障害の発生率には重複発生を含む

[発表及び関連文献]

令和2年度試験研究成果発表会（野菜部門Ⅱ）

[その他]